

107 番の歌 神の愛の模範

長老の皆さん、 罪を犯した人に愛を込めて憐れみ深く接してください

「神[は]ご親切にも悔い改めに導こうとしてくださっている」。 ローマ 2:4 それともあなたは、 神がご親切にも悔い改めに導こうとしてくださっていることを知らず、 神の豊かな親切と寛容と辛抱を軽く見ているのですか。

ポイント：長老たちが重大な罪を犯した人をどのように助けるかを考えます。

1. 重大な罪を犯した人にもどんな見込みがありますか。

前の記事では、 パウロがコリントで起きた重大な罪をどのように扱ったかを考えました。その罪を犯した人は、 悔い改めなかつたために会衆から除かれました。でもこの記事の主題聖句にある通り、 エホバは重大な罪を犯した人も悔い改めに導きたいと思っています。 (ロマ 2:4 それともあなたは、 神がご親切にも悔い改めに導こうとしてくださっていることを知らず、 神の豊かな親切と寛容と辛抱を軽く見ているのですか。) 長老たちはこのような人たちをどのように助けることができるでしょうか。

2-3. 仲間が重大な罪を犯したことを知った場合、 私たちはどうする必要がありますか。 どうしてですか。

2 どんなことが起きているかを知らなければ、 長老たちは助けになることができません。私たちは、 誰かが会衆から除かれることになるような重大な罪を犯したことを知った場合、 どうすべきでしょうか。 長老に助けを求めるよう、 その人に勧めるべきです。 (イザ 1:18 エホバはこう言う。

「来なさい。私たちの間で物事を正そう。あなたたちの罪は縫(*赤)のようだが、 雪のように白くされる。紅の布のように赤いが、 羊毛のようになる。使徒 20:28 自分自身と群れ全体に注意を払ってください。神が聖なる力によつて皆さんを群れの監督に任命しました。神の会衆を牧者として世話をするために、 その会衆を神は自分の子の血によって買い取ったのです。ペテー 5:2 皆さんに委ねられた神の羊の群れを世話してください。強いられてではなく、 神の前で進んで監督として奉仕し(*進んで群れを注意深く見守り)， 不正当な利益を得ようとしてではなく、 真剣な態度で世話しましょう」

3 でも、 もしその人が長老に話そうとしないならどうしますか。その場合は私たちが長老に伝え、 本人が必要な助けを得られるようにします。大切な仲間を失いたくないと思っているからです。悪い行いを続けるなら、 エホバとの絆を失うことになってしまいます。会衆の評判も傷つくかもしれません。それで私たちは、 エホバと仲間への愛の気持ちから勇気を持って行動します。 (詩 27:14 希望を抱いてエホバを待て。 勇気を出し、 心を強くせよ。 そうだ、 希望を抱いてエホバを待て)

長老たちは重大な罪を犯した人をどのように助けるか

4. 長老たちは重大な罪を犯した人と話し合う時、 どんなことを目指しますか。

4 会衆の誰かが重大な罪を犯した場合、 長老団はその件を扱うための委員会を設け、 その委員会で奉仕する3人のふさわしい長老を選びます。 *これまで、 こうした長老たちから成る委員会は審理委員会

と呼ばれていました。とはいへ審理することは委員会の役割の一部にすぎないため、この表現は使われなくなりました。今後は単に委員会と呼ばれます。その人たちは限界をわきまえる謙虚な人であるべきです。罪を犯した人を助けようとする時にも、変化するよう相手に強制することはできない、ということを認めめる必要があります。（申 30:19 私は今日、天と地を証人にして、あなたの前に、命と死、祝福と災いを置きました。あなたは生きるために、命を選ばなければなりません。あなたもあなたの子孫もです）みんながみんなダビデのように良い反応を示すわけではないということも理解しています。（サム二 12:13 ダビデはナタンに言った。「私はエホバに対して罪を犯しました」。ナタンはダビデに言った。「エホバはあなたの罪をお許しになります。あなたは死ぬことはありません」）中には、エホバからの助言を無視する人もいます。（創 4:6-8 それでエホバはカインに言った。「どうしてそんなに怒って、ふさぎ込んでいるのか。7 善いことを行うようになれば、好意を得られるのではないか。しかし、善いことを行うようにならなければ、戸口で待ち構えている罪があなたを捕らえようとする。あなたはそれを押しとどめるだろうか」。8 その後カインは弟アベルに、「野原に行こう」と言った。そして2人で野原にいる時に、弟に襲い掛かって殺した）それでも長老たちは、悔い改めるようその人を助けることを目指してできる限りのことをします。では罪を犯した人と話し合う時、どんなことを覚えておく必要があるでしょうか。

5. 長老たちは罪を犯した人と話し合うとき、どんなことを覚えておくべきですか。（テモテ第二 2:24-26）（挿絵も参照。）

5 罪を犯した人を迷い出た大切な羊と見る。（ルカ 15:4 ある男性が100匹の羊を持っていて1匹がいなくなったとき、その男性は99匹を荒野に残して、迷い出た羊を見つけるまで捜すのではないでしょうか、6 家に着くと、友人や隣人を呼び集めて言います。『一緒に喜んでください。迷い出していた羊が見つかりました』）人と話し合うときには、厳しい口調で話したり冷たい態度で接したりしないようにします。機械的にただ事実を確認すればよいと考えるべくではありません。テモテ第二 2章 24-26節 主の奴隸は争う必要はありません。必要なのは、誰にでも穏やかに(*巧みに)接すること、教える資格があること、不当な扱いを受けても自分を抑えること、25 好意的でない人たちを温和な態度で教えることです。もしかしたら神は、その人たちが悔い改めて(*考えを変えて)真理の正確な知識を得られるようにされるかもしれません。26 そしてその人たちは、悪魔に捕らわれて悪魔の望み通りに行動していたことに気付き、本心に立ち返って悪魔のわなから逃れるかもしれません。言葉を心に留めておくようにします。（読む。）長老たちは温和に、優しく親切に接し、罪を犯した人の心が動くように努力します。



古代の羊飼いは迷子になった羊を捜すためにできる限りのことをした。現代の長老たちも同じように努力する。（5節を参照。）

6. 長老たちは罪を犯した人と話し合う前に、どのように心を整えますか。（ローマ 2:4）

6 心を整える。長老たちは罪を犯した人に対してエホバと同じ接し方をするよう努力します。パウロが言っている通り、「神がご親切にも悔い改めに導こうとしてくださっている」ことを忘れ

ないようにします。 (ローマ 2:4 それともあなたは、神がご親切にも悔い改めに導こうとしてくださっていることを知らず、神の豊かな親切と寛容と辛抱を軽く見ているのですかを読む。) そして、牧者としてキリストが会衆を世話する方法に倣う必要があるということも覚えておく必要があります。 (イザ 11:3, 4 彼は喜んでエホバを畏れる。見える事柄だけに基づいて裁くことをせず、聞いた事柄だけに基づいて戒めることもしない。4 立場が低い人たちを公平に(*正しく)裁き、地上の温厚な人たちのために公正に戒めを与える。口から出る棒で地上を打ち、唇から出る息で邪悪な人々を死に至らせる。マタ 18:18-20 はつきり言いますが、何でもあなたたちが地上で縛るものは天ですでに縛られており、何でもあなたたちが地上で解くものは天ですでに解かれています。19 さらに言いますが、地上にいるあなたたちのうちの2人が、どんな重要な事柄でも、同意して願い求めなるなら、天にいる父によってその通りになります。20 2人か3人が私の名によって集まっている所には、私もいるからです) 委員会の長老たちは罪を犯した人と話し合う前にエホバに祈り、自分たちが目指すのは悔い改めるようその人を導くことであるという点をじっくり考えます。そして、聖書や出版物を調べ、その人や状況についてよく理解できるように助けを求めて祈ります。その人の考え方、態度、行動に影響を与えていたりかもしれない生き立ちや今の状況についても考慮するようにします。 (格 20:5 人の心の考え(*意図)は深い所にある水のようだ。識別力のある人はそれをくみ上げる)

7-8. 長老たちは罪を犯した人と話し合う時、どのようにエホバの辛抱強さに倣えますか。

7 エホバの辛抱強さに倣う。長老たちは、過去にエホバが罪を犯した人たちにどのように接したかを考える必要があります。エホバはカインに、罪を犯すとどうなるか警告し、ご自分のアドバイスに従えば良い結果になることを伝えて辛抱強く考えさせました。 (創 4:6, 7 それでエホバはカインに言った。「どうしてそんなに怒って、ふさぎ込んでいるのか。7 善いことを行うようになれば、好意を得られるのではないか。しかし、善いことを行うようにならなければ、戸口で待ち構えている罪があなたを捕らえようとする。あなたはそれを押しとどめるだろうか」) また、ダビデに助言を与えるために預言者ナタンを遣わしました。ナタンの使った例えはダビデの心に響きました。 (サム二 12:1-7 それでエホバはナタンをダビデの所に遣わした。ナタンはダビデの所に来て言った。「ある町に2人の男性がいました。1人は裕福な人、もう1人は貧しい人でした。2裕福な人は非常に多くの羊や牛を持っていました。3しかし貧しい人には、自分で買った小さな雌の子羊が1匹いるだけで、ほかには何もいませんでした。その人はその子羊を世話し、子羊はその人家族と一緒に成長していました。その人は、少ない食べ物の中から子羊に食べさせ、自分の器から飲ませ、腕の中で寝かせました。子羊は娘のようになりました。4ある時、1人の旅人が裕福な人の所にやってきました。ところが裕福な人は、その旅のために自分の羊や牛を振る舞おうとはせず、貧しい人の雌の子羊を取って、それを振る舞いました」。5するとダビデはその人に非常な怒りを感じ、ナタンに言った。「生きている神エホバに懸けて言います。そんな男は死に値します!6その男は4匹の子羊で償うべきです。相手の気持ちも考えずにそんなことをしたからです」。7そこでナタンはダビデに言った。「その人はあなたのことです!イスラエルの神エホバはこう言っています。『私はあなたを選んで(d*に油を注いで)イスラエルの王とし、あなたをサウルから助け出した』) エホバは不従順なイスラエル国民にも「繰り返し」預言者を「遣わし続け」ました。 (エレ 7:24, 25 しかし、彼らは聞かず、耳を傾けなかった。自分たちのたくらみを実行し(*考えに従い)、頑固にも悪い心のままに歩んで、前進するどころか後退した。25あなたたちの父祖たちがエジプトを出た日から今までそうである。それで私は、私に仕える預言者全てをあなたたちのもとに遣わし続けた。毎日のように繰り返し(d*毎日早く起きては)遣わした) エホバは人々が悔い改めるまでは助けないというような方ではありません。エホバの側から、悔い改めるようにと積極的に勧めました。

8 長老たちは重大な罪を犯した人を助ける時、エホバに倣って「いつも辛抱強く」あり、相手が筋道立てて考えられるようにします。 (テモニ 4:2 神の言葉を広めなさい。順調な時にも困難な時にも熱心

に(*緊急性を意識して)伝道しなさい。いつも辛抱強く、教える技術を駆使して、戒め、忠告し、励まし(*説き勧め)なさい) 罪を犯した人に穏やかに接し、その人の正しいことを行いたいという気持ちに辛抱強く訴え掛ける必要があります。長老がいらいらしたり怒ったりするなら、罪を犯した人はのけ者にされたように感じたり、悔い改める意欲を失ったりするかもしれません。

9-10. 長老たちは、罪を犯した人が自分の行動についてよく考えるよう助けるためにはなにができますか。

9 どんなことが罪を犯す原因になったのかを知るようになります。次のような点を考えてみましょう。①その人は個人研究や宣教などの習慣がおろそかになって少しずつ弱くなっていたのでしょうか。②祈りの回数が減ったり表面的なものになったりしていたのでしょうか。③悪い欲望に従ってしまったのでしょうか。④良くない友達と付き合ったり、エホバに喜ばれないものを楽しんだりしていたのでしょうか。⑤そのような選択の結果、その人の心にどんな影響があったのでしょうか。⑥自分の決定や行動によってエホバがどんな気持ちになっているか分かっているでしょうか。

10 長老たちはよく考えた質問をし、どんなことが原因でエホバとの関係が弱くなり、罪を犯してしまったのかを考えるよう助けることができます。そうする時も親切に接するようにし、必要以上に個人的なことを尋ねないようにします。 (格 20:5 人の心の考え(*意図)は深い所にある水のようだ。識別力のある人はそれをくみ上げる) ナタンがしたように例えを使って考えさせ、自分がしたことの重大性を理解するよう助けることもできます。もしかすると最初の話し合いの間に、罪を犯した人は自分がしてしまったことについて深く悲しみ、悔い改めることさえあるかもしれません。

11. イエスは罪を犯した人をどのように助けましたか。

11 イエスに倣うよう努力する。天に復活したイエスはタルソスのサウロに対し、次のような質問を投げ掛けて考えさせました。「サウロ、サウロ、なぜ私を迫害しているのですか」。そのようにして、サウロが間違った行動をしているということに気付けるようにしました。 (使徒 9:3-6 サウロが旅をしてダマスカスに近づいた時、突然、天からの光が彼の周りを照らし、4 サウロは地面に倒れ、「サウロ、サウロ、なぜ私を迫害しているのですか」と言う声を聞いた。5 サウロが、「主よ、あなたはどなたですか」と言うと、答えがあった。「イエスです。あなたは私を迫害しています。6 起きて町に入りなさい。そうすれば、何をすべきか告げられます」) イエスは「あのイゼベルのような女性」に対しても「悔い改めるための時間を与えました」。 (啓 2:20, 21 しかし、とがめるべき点があります。あなたがあのイゼベルのような女性を容認していることです。彼女は女預言者だと自称し、私の奴隸たちを教えて惑わし、性的に不道徳な行為(*)をさせ、偶像に犠牲として捧げられた物を食べさせています。21 私は彼女に悔い改めるための時間を与えましたが、彼女は性的不道徳(c*ギ語ポルネイア)を悔い改めようとしません)

12-13. 長老たちは、悔い改めるのに時間が必要な場合があることを考えてどんなことができますか。 (写真も参照。)

12 長老たちはイエスに倣って、罪を犯した人が悔い改めることはないとすぐに決めつけることはしません。委員会との最初の話し合いで悔い改める人もいるかもしれません、もっと時間が必要な人もいます。それで、長老たちは罪を犯した人と話し合う機会を1度だけでなく何度もつくることもできます。罪を犯した人の中には、最初の話し合いで言わされたことについて、後になって真剣に考えるようになる人もいるでしょう。謙虚になり、エホバに許しを求めて祈るかもしれません。 (詩 32:5 私はついに自分の罪をあなたに告白した。過ちを隠さなかった。「違反をエホバに告白しよう」と言った。すると、あなたは過ちと罪を許してくださいました; 38:18 私は自分の過ちを告白した。自分の罪について思い悩んだ) 2回目の話し合いの時には、気持ちや態度に変化が見られるかもしれません。

13 長老たちは罪を犯した人を悔い改めに導けるよう、思いやりや親切を示します。エホバが自分たちの努力を祝福し、道を誤った仲間が本心に立ち返って悔い改めるように祈ります。 (テモニ 2:25, 26 好意的でない人たちを温和な態度で教えることです。もしかしたら神は、その人たちが悔い改めて(*考えを変えて)真理の正確な知識を得られるようにされるかもしれません。 26 そしてその人たち、悪魔に捕らわれて悪魔の望み通りに行動していたことに気付き、本心に立ち返って悪魔のわなから逃れるかもしれません)



悔い改めるのに時間がかかる人もいる。長老たちは話し合う機会を1度だけでなく何度かつくることができる。 (12節を参照)

14. 罪を犯した人が悔い改めるとき、その人を本当の意味で助けたのは誰ですか。どうしてそういえますか。

14 罪を犯した人が悔い改めるなら、それは本当にうれしいことです。 (ルカ 15:7 あなた方に言いますが、同じように、悔い改める1人の罪人については、悔い改める必要のない99人の正しい人についてよりも、大きな喜びが天にあるのです、10 同じように、あなた方に言いますが、悔い改める1人の罪人については、神の天使たちが一緒に喜ぶのです) 長老たちも一生懸命に助けたとはいえ、その人を本当の意味で助けたのはエホバです。パウロはこう言っています。「もしかしたら神は、その人たちが悔い改め……るようになりますか」。 (テモニ 2:25 好意的でない人たちを温和な態度で教えることです。もしかしたら神は、その人たちが悔い改めて(*考えを変えて)真理の正確な知識を得られるようにされるかもしれません) この聖句の英語のスタディー版聖書の注釈にはこうあります。「その人が考え方や態度を変えたのは、どんな人間の功績でもなく、エホバの功績。強情だったクリスチャンがその重要な変化を遂げるよう助けたのはエホバだから。パウロは続けて、こうした悔い改めの素晴らしい結果を幾つか挙げている。つまり、①真理の正確な知識を得ること、②本心に立ち返ること、③サタンのわなから逃れることである。 (テモニ 2:26 そしてその人たち、悪魔に捕らわれて悪魔の望み通りに行動していたことに気付き、本心に立ち返って悪魔のわなから逃れるかもしれません)」

15. 長老たちは悔い改めた人を引き続きどのように助けますか。

15 罪を犯した人が悔い改めた場合、委員会の長老たちは牧羊を取り決め、その人が信仰を強め、誘惑に抵抗して正しいことを行うことができるよう引き続き助けます。 (ヘブ 12:12, 13 ですから、垂れ下がった手と弱った膝を強くしましょう。 13 そして、自分の足のためにいつも真っすぐな道を作ってください。弱い部分が脱臼したりせず、かえって癒やされるようにするためです) もちろん長老たちは罪を犯した人がどんなことをしたか、詳しいことを他の人に知らせたりはしません。でも、会衆の人たちはどんなことを知る必要がありますか。

「皆の前で戒めてください」

16. パウロがテモテ第一5章20節で「皆の前で」と言った時、誰を指していましたか。

16 テモテ第一 5:20 罪深い行いをやめない人を、皆の前で戒めてください。それは他の人への警告となります(d*そうすれば他の人も恐れるようになります)を読む。ここでパウロは、「罪深い行いをやめない人」がいる場合にどうしたらよいかについて長老のテモテに伝えようとしていました。では、この聖句の「皆」とは会衆の全員を指すのでしょうか。必ずしもそうではありません。パウロは、その罪について知っていた人たちのことを言っていました。罪を犯しているところを目撃した人もいれば、罪を犯した人から直接話を聞いた人もいたかもしれません。それで、長老たちはそうした人たちだけに、問題がすでに扱われたことや、罪を犯した人が矯正を受けたことを思慮深い仕方で知らせます。

17. 重大な罪が会衆の多くの人に知られている場合や知られそうな場合、どんな発表がなされますか。どうしてですか。

17 罪を犯した人の悪い行いが、会衆の多くの人に知られている場合や知られそうな場合はどうでしょうか。この場合、「皆」には、会衆全体が含まれることになります。それで会衆に対して、その兄弟または姉妹が戒めを受けたことを1人の長老が発表します。そうするのは、パウロが言っている通り、罪を犯さないようにという「他の人への警告」とするためです。

18. バプテスマを受けた未成年者が重大な罪を犯した場合、長老たちはどうしますか。（写真も参照。）

18 バプテスマを受けた18歳未満の未成年者が重大な罪を犯した場合はどうでしょうか。長老団は、2人の長老が本人とクリスチャンの親と話し合うようにします。*この記事で親について述べられている事柄は、親権者と同様の権利がある法的な後見人などにも当てはまります。話し合いの際、長老たちは、子供が悔い改めるのを助けるために親がすでにどんなことをしたかを知るようにします。もし、子供の態度が良く、親が子供をしっかり助けているなら、2人の長老はそれ以上扱いを進める必要はないと判断するかもしれません。愛情深く子供を矯正するのは、神から与えられた親の責任だからです。（申6:6, 7 私が今日命じるこれらの言葉があなたの心に入っていなければなりません。7 あなたはその言葉を自分の子にしっかり教え(*繰り返し言い/銘記させ)、家で座るときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときもそれについて話さなければなりません。格6:20 わが子よ、父のおきてを守りなさい。母の教え(*律法)を捨ててはならない；22:6 少年(*子供/若者)を彼の行くべき道に沿って育てよ。彼は年を取っても、それから離れない。エフェ6:2-4 「父と母を敬いなさい」とあり、これは約束を伴う最初の命令です。3 「そうすれば物事はうまくいき(*そうすれば成功し)、地上で長く生きられる」という約束です。4 父親は、子供をいら立たせないようにし、エホバ(*)が望む指導と助言(*エホバの考えを入れること)によって育ててください）長老たちは、親が子供に必要な助けを与えていているかどうかを周期的に確認します。では、バプテスマを受けた未成年者が悔い改めようとせずに、間違った行いを続ける場合はどうでしょうか。その場合、長老たちから成る委員会が、本人とクリスチャンの親と話し合います。



未成年者が重大な罪を犯した場合、2人の長老が本人とクリスチャンの親と話し合う。（18節を参照。）

「エホバは優しい愛情にあふれ、憐れみ深い方」

19. 長老たちはエホバに倣い、罪を犯した人に対してどんな見方をしますか。

19 委員会で奉仕する長老たちは、会衆の清さを守るという大きな責任をエホバから委ねられています。 (コリー 5:7 古いパン種を取り除き、新しいパン生地であってください。皆さんの中に酵母はないはずです。私たちの過ぎ越しの子羊であるキリストが犠牲にされたからです) でも同時に、罪を犯した人が悔い改めるよう助けるために、できる限りのことをします。その人が変化することを信じ、前向きな見方を持ち続けるようにします。「優しい愛情にあふれ、憐れみ深い」エホバに倣いたいと思っているからです。 (ヤコ 5:11 私たちは、忍耐した人は幸せである(*祝福されている)と考えます。皆さんはヨブの忍耐について聞き、ヨブがエホバ(*)のおかげでどんな結末を迎えたかを知っています。エホバ(*)は優しい愛情(*思いやり)にあふれ、憐れみ深い方なのです) 高齢だった使徒ヨハネはまさにそのような人で、次のように書きました。「私の子供たち、皆さんが罪を犯さないように、私はこれらのこと書いています。とはいっても、もし誰かが罪を犯したとしても、私たちを助けてくださる方が父のもとにいます。正しい方であるイエス・キリストです」。 (ヨハ一 2:1 私の子供たち、皆さんが罪を犯さないように、私はこれらのこと書いています。とはいっても、もし誰かが罪を犯したとしても、私たちを助けて(*擁護して)くださる方が父のもとにいます。正しい方であるイエス・キリストです)

20. この号の最後の記事ではどんなことを学びますか。

20 残念なことですが、クリスチャンの中には罪を悔い改めようとしない人もいます。その人は会衆から除かされることになります。では、長老たちはこうした問題をどのように扱うでしょうか。この号の最後の記事でその点を学びます。

どんなことを学びましたか

1. 長老たちは罪を犯した人と話し合う時、ローマ 2 章 4 節 それともあなたは、神がご親切にも悔い改めに導こうとしてくださっていることを知らず、神の豊かな親切と寛容と辛抱を軽く見ているのですかに沿ってどんなことを目指しますか。

・S01 エホバは重大な罪を犯した人も悔い改めに導きたいと思っているので、長老たちはこのような人たちを悔い改めるようにどのように助けることができるかを目指す。

2. 長老たちはテモテ第二 2 章 24-26 節 主の奴隸は争う必要はありません。必要なのは、誰にでも穏やかに(*巧みに)接すること、教える資格があること、不当な扱いを受けても自分を抑えること、25 好意的でない人たちを温和な態度で教えることです。もしかしたら神は、その人たちが悔い改めて(*考えを変えて)真理の正確な知識を得られるようにされるかもしれません。26 そしてその人たちは、悪魔に捕らわれて悪魔の望み通りに行動していたことに気付き、本心に立ち返って悪魔のわなから逃れるかもしれませんをどのように実践できますか。

・S05 罪を犯した人と話し合うときには、厳しい口調で話したり冷たい態度で接したりせず、機械的にただ事実を確認すればよいとも考えない。テモテ第二 2 章 24-26 節を心に留めて、温和に、優しく親切に接し、罪を犯した人の心が動くように努力する。

3. 「皆の前で戒める」とはどういう意味ですか。

・S16 パウロは、その罪について知っていた人たちのことを言っていたので長老たちは、罪を犯しているところを目撃した人や、罪を犯した人から直接話を聞いた人たちだけに、問題がすでに扱われたことや、罪を犯した人が矯正を受けたことを思慮深い仕方で知らせます。

・S17 罪を犯した人の悪い行いが、会衆の多くの人に知られていたり知られそうな場合は、この「皆」には、会衆全体が含まれることになる。それで「他の人への警告」とするため会衆に対して、その兄弟または姉妹が戒めを受けたことを1人の長老が発表する。